

目 次

はじめに

目次

研究体制

I	研究の概要	1
1.	問題の背景と目的	
2.	研究の構成	
II	二次的な障害の概念整理（医学における定義より） 発達障害とその二次障害・併存症―支援と留意事項―	7
III	二次的な障害が生じている児童生徒の実態と予防的取組に関する インタビュー調査の報告	25
1.	発達障害等のある児童生徒の不適応とその対応に関する先行研究の整理	
2.	発達障害等のある児童生徒の不適応とその対応に関するインタビュー調査	
IV	発達障害等通級による指導に関する全国実態調査の報告	49
1.	発達障害等通級を対象とした全国実態調査の概要	
2.	自立活動に相当する指導の主な成分の検討	
3.	「学びへのアクセス」という観点からみえる発達障害等通級の役割： 「教科の内容を取り扱いながらの自立活動」	
4.	自己理解に関する指導・支援の実態	
5.	信頼感に関する指導・支援の実態	
V	研究協力者による論考	93
1.	他領域連携機関の研究協力者による論考	
2.	通級指導教室担当の研究協力者による論考	
VI	総合考察	119

資 料

- 資料 1 発達障害等通級による指導に関する全国実態調査票
- 資料 2 PAC 分析の手法を援用したインタビュー調査の手続き（Ⅲ 関連資料）
- 資料 3 二次的な障害の予防を目的としたリーフレット
- 資料 4 一般雑誌への寄稿論文（『刑政』）

参考資料

高等学校における通級による指導に係る教員の専門性と校内体制に関する
アンケート調査について

あとがき